

経営サプリメント



生き残る企業になるための経営戦略～イクボス～

イクボスという言葉をご存知ですか？

言葉はイクメンに似ていますが決してそうではありません。NPO法人ファザーリング・ジャパンではこのように定義しています。

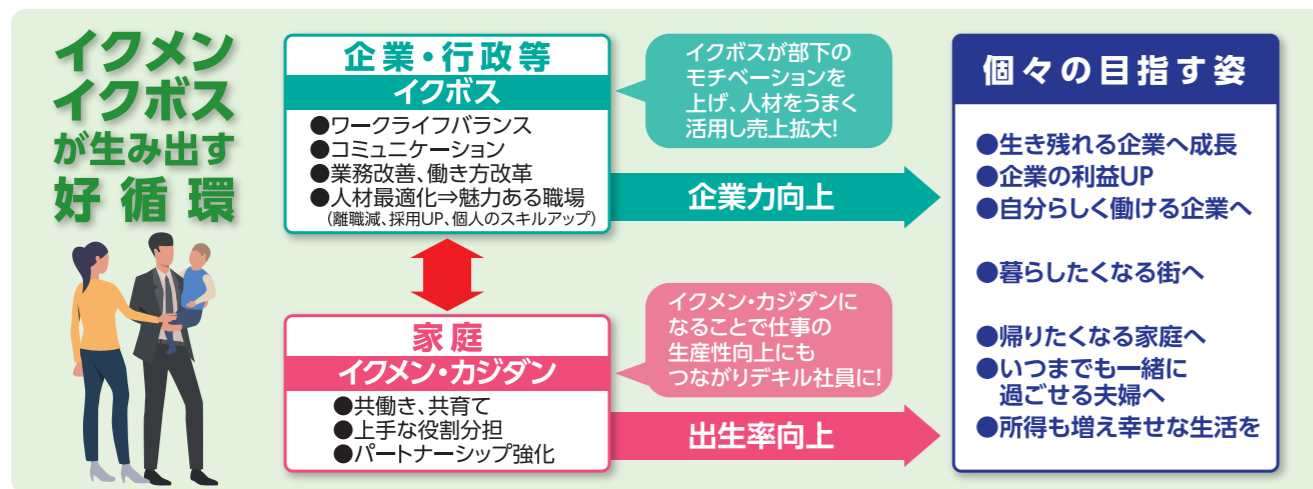
イクボスとは、職場で共に働く部下・スタッフとコミュニケーションをしっかりと、ワークライフバランス(仕事、私生活の両立)を考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司(経営者・管理職)のことを指す。

簡単に言うと部下を育成するボス(管理職、もしくは経営者)のことであり、男女は問いません。厚生労働省は毎年イクボスワードというイベントを行い、全国の優れたイクボスたちを表彰しています。そんな動きがあることをあなたはご存知でしたか？秋田県内でも県知事をはじめ市町村長や教育長、民間企業でもイクボス宣言を行うなど、両立支援、女性活躍の推進、そしてワークライフバランスの実現を目指しています。

そもそもワークライフバランスを実現することで企業にどんなメリットがあるのか?と考える方も多いでしょう。簡単に説明します。

これは秋田市イクボス企業同盟が目指している姿です。

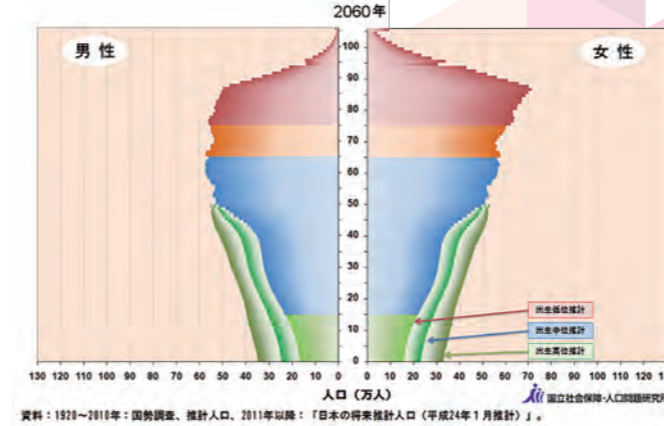
社員、職員一人一人のモチベーションが上がることで(そのためには長時間労働の是正、生産性の向上、所得の向上などなどの要因が必要)、さらに会社に必要の人材として貢献し、売上、利益ともアップ、マーケットが縮小し続けるこれからの時代も生き残っていける企業力=人間力を身につけるというもの。



イクボスが必要とされる時代背景

現代は、女性が働いたり、男性が家事・育児をすることに若い世代は抵抗がなくなってきています。特に都市部の核家族は「共働き・共育て」でないと暮らしていけません。

一方その上司(経営者～管理職世代)の固定化した価値観・仕事のやり方や男女の役割意識が、ワークライフバランスつまり男性の育児休暇取得、女性の活躍推進、超長時間労働の是正などの妨げとなっているのも事実です。次をご覧ください、2060年の人口予測図です。



(公財)あきた企業活性化センター
秋田県よろず支援拠点 コーディネーター
本田 正博
1997年 JR 系通信会社(株)トランスネット インターネット事業部
2001年 富士通(株) @nifty Web プロデューサー
2003年 実家である米屋のネットショップ店長(株)本田商店
2014年 独立・起業(合同会社あきたこまちネット 代表社員)
2015～2016年 職業訓練校講師(Webクリエイター養成科、OA基礎科)
2016年 社会福祉法人 事務局長を兼務(秋田、横浜で保育園運営)
2018年 秋田市イクボス企業同盟 事務局長を兼務
NPO法人ファザーリング・ジャパン東北 事務局長を兼務
2019年 秋田県よろず支援拠点 コーディネーターを兼務

少子化で労働人口が減りつつある中、子育て世代の出産育児時や40～50代の介護での離職者をいかに防ぐかは企業の大きな課題。労働力不足も既に出てきていますね。

そこで「男女問わず全て」の労働者の「育児、介護、その他私生活」など生活事情全般への理解を示す「イクボス」の存在が大切になってきたのです。社員のワークライフバランス推進にとどまらず、企業にとっては従業員の満足度、健康度、ロイヤリティ(忠誠心)を上げ、生産性向上と利益拡大にも繋がっていく、これがイクボス式経営の目指すところです。

あなたの職場にこんなイクボスがいたらどう思いますか？

かっこいいイクボス像

ここでロールモデルを紹介しましょう(これらは実例です)

- 部下の家族構成を知っている(部下の家族も大事な存在だと考えている)
- 保育園からの電話が分かる(ワーキングペアレンツの悩みを理解、フォローできる)
- 仕事がデキる(どこに行っても通用する能力がある)
- 部下を伸ばすマネジメントができる(責任を取る覚悟はいつもある)
- デスクに家族写真を置いている(職場で家族の話を笑顔でできる)
- 文化的教養がある(話題が豊富。営業もうまい。仕事外にも友人が多い)
- ファッションセンスがよい(内面と外見が一致している)
- 人生を楽しんでいる(笑っている上司)



自分の上司がこんなイクボスだとしたら部下のマインドとしては当然、一緒に仕事したい、この人に褒められたい、自分もこんなイクボスになりたい、となるでしょう。

今すぐできるイクボスへの道

イクボスが必要な理由、いや、イクボスにならなければならない理由はわかりただけましたか?もう一度書きますが、部下のマインド、モチベーションを上げることで、最終的には企業が生き残るための企業力、人間力を養っていくのがイクボスです。そんなイクボスになるために第一歩を踏み出しましょう。

- 部下のプライベートを把握する → 踏み込みすぎるとセクハラって言われるかも!?
- 自社の制度(各規則)を勉強する → 積極的に休み、育休、介護休暇などの取得を勧める
- 率先して早く帰る → 上司が帰らないと部下は帰れない
- 率先して休暇をとり、その話をみんなにする → 人生を楽しんでることをアピール
- 家に帰って家族と話を → 自分を支えてもらってることを再確認
- 社会活動(町内、ボランティア等)をやってみる → 新たなネットワークができ相乗効果も?